

2年生 パリ五輪 新種目「フレイキン(フレイクダンス)」に挑戦!

7日(木)、日本を代表するプロのブレイカーの2名の方を講師にお迎えして、2・3校時に2年生の子供たちが「ブレイキン」に挑戦しました。最初は、どのように踊るのか不安そうな表情をしていましたが、講師の先生のアクロバット技に釘付けとなり、興味・関心が一気に高まりました。そして、講師の先生が踊るお手本を見ながら、45分間夢中になって踊っていました。あっという間に振り付けを覚え、最後には音楽に合わせてかっこよく踊れるようになりました。体を動かす楽しさを十分に味わった子供たちのキラキラとした笑顔が、体育館いっぱいに溢れていました。



※10月には、笠間市で「ブレイキン」の体験イベントや大会が開催されます。詳細は、後日案内があります。ぜひ、アクロバティックで即興的なブレイキンの魅力を、直接味わってみてください。

県教育委員会事業「いばらき輝く教師塾」で4名の大学生が一日研修

茨城県では、教員不足を解消するため、大学生に教師の魅力を知ってもらうことを目的に、「いばらき輝く教師塾」という講座を設けています。そこで、毎年、笠間市内の小・中・義務教育学校が協力校となり、実際に学校での一日体験研修を行っています。

本校では、8日(金)に4名の大学生を受け入れました。当日は、台風接近に伴い半日で終了となりましたが、中休みに子供たちと遊んだり、図工や理科の授業に支援に入ったり、栄養教諭の仕事や授業を参観したりと、教師の仕事を知ってもらいました。終了後、栄養教諭になることを迷っていたという大学生から、「今日の体験で決意が固まりました。栄養教諭を目指して残りの2年間、頑張って勉強します。」との嬉しい言葉を聞くことができ、我々にとっても大変励みとなりました。



9月から「あいさつ」に力を入れていきます!

保護者の皆様のご支援をお願いします

始業式、入学式、そして全校朝会でも「元気なあいさつができる北川根小学校」を目指そうという話をしてきました。

正門前の横断歩道では、停止してくれたドライバーさんに「ありがとう」の思いを込めて深々とお辞儀をする子供たちの姿があり、いつも温かい気持ちにさせてくれます。校門前で子供たちを迎える際には、天気が悪い日であっても、笑顔で元気なあいさつしようと努めています。多くの子供たちは、毎朝、気持ちよく「おはようございます」とあいさつしてくれますが、下を向いている子や黙って通りすぎてしまう子がいます。「どうしたんだろう。何かあったのかな。」と心配になります。

学校では、これからもあいさつに力を入れていきますが、お子様が、ご家庭でも「おはよう」「いただきます」「行ってきます」「行ってらっしゃい」という家族でのあいさつ、「こんにちは」といった地域でのあいさつがしっかりとした言葉で言えるようご支援をお願いいたします。あいさつを言葉に出せるようになることで、家族や地域(社会)とうまくつながることのできる人間に成長できると思います。

第5回創立150周年記念事業推進実行委員会

第5回150周年記念事業推進実行委員会が7日(木)に行われ、実行委員長であるPTA会長A様をはじめとする本部役員の皆様にお集まりいただきました。

今回は、記念式典の流れの確認、記念品の決定、記念リーフレット内容の修正等についてご協議いただきました。

10月には第6回の実行委員会と式典(11月2日)のリハーサルを予定しています。子供たちの心に残るものにしたいという実行

委員会の皆様の思いに心より感謝申し上げます。

